



自主防災会による実動訓練後に行われたワークショップ

災害に備えた行動を確認 町総合防災訓練

町総合防災訓練を9月13日、町内で行いました。町の防災に関わる関係団体などから約400人が参加。地域の自主防災会による避難、煙が充満したテント内を通る煙体験など初実施の訓練を含めた内容で、災害対策に万全を期しました。

家族と来場した本間雄さん(矢巾東小6年)は「煙体験は姿勢を低くしないと息がしにくかった」と話しました。



町営キャンプ場で森林教室 児童が地域の森林や樹木の役割学ぶ

矢巾東小4年生70人が参加し、樹木の観察や資料を使った学習に加え、丸太切りなどの体験も実施。野生動物や林業、水を蓄える機能など、森林や木が持つさまざまな役割を学びました。参加した小林恭生さんは「森の生き物では、クマなどの動物以上に、スズメバチなどの虫が危ないことを知った。丸太切りは大変だったけど、上手くできた」と話しました。



被爆体験伝承者・町内中学生が 平和の尊さを語る

戦争と核兵器の根絶などを願う「平和の集い」を8月22日、町公民館で実施。広島市への平和学習派遣事業に参加した芦名澤愛桜さん・本多倅祐さん(矢巾中2年)が原爆被害や同市における平和への取り組みなど学んだことを発表。同市が養成する被爆体験伝承者・松谷文緒さんは被爆者の体験を伝えながら平和をつかみ取り、守ることの大切さを伝えました。



平和の尊さを後世に伝える 町戦没者追悼式

町戦没者追悼式を8月22日、町公民館で行いました。先の大戦で倒れた英霊404柱に哀悼の誠をささげ、恒久平和を願いました。代表して町遺族連合会の北邦男会長は「世界では今なお、戦争・紛争で人々の命や未来が奪い去られ、多くの新たな悲しみが生まれている。私たちこそ、平和の尊さを次の世代に伝えなければならない」と追悼の言葉を述べました。

友だち紹介 ふどうこども園【3歳児】



うるしだゆうとくん



たかやま あおちゃん



うわの けいとくん



なかの かなみちゃん



ささき しゅうやくん



ひろた すずちゃん



すがわら とわくん



古里の魅力掘り起こしなどに尽力 地域おこし協力隊・岩隈さん退任

町地域おこし協力隊として活動していた岩隈綾菜さんが9月15日、任期を終え退任しました。矢巾の「食」に着目して、農産物の魅力の再発掘や発信を主に活動しました。

岩隈さんは「誰かのきっかけづくりや手助けができる協力隊の仕事は魅力的だった。この町が好きな人が一人でも増えるよう、これからも町内外にPRしていけたら」と話しました。



全国大会の成績を報告 矢巾北中陸上部・佐藤さんと高橋さん

矢巾北中陸上部の選手が8月に行われた全国大会に出場し、9月8日に高橋町長へ報告しました。男子110[㍎]ハードルに出場した高橋瑛多さん(3年)は「大会前からのけがが続き、思うような走りができなかった。悔しさをばねに高校でも陸上を頑張りたい」、女子200[㍎]の佐藤楓果さん(2年)は「残念な結果だったが、来年は決勝に残れるよう練習をがんばっていきたい」と今後の抱負を述べました。



川原マツエさん100歳 高橋町長がお祝い

高田2区の川原マツエさんが8月25日、100歳の誕生日を迎えました。9月11日、入所中の施設を高橋町長が訪れ、祝い状や花束を手渡して長寿を祝いました。川原さんは大正15年生まれで旧都南村出身。好物はウナギや寿司。長寿の秘けつは、みんなに感謝して過ごすこと。川原さんは「この年まで生きて、お祝いしてもらえて本当にありがたい」と話しました。



作家の個性光るイベント YAHABAnoSORA 初開催

クラフト作家を中心に、自慢の作品やサービスを販売する「YAHABAnoSORA」が9月5日、JR矢幅駅東口で行われました。町内外から17の個人や店舗が参加し、個性豊かな品々で来場者を楽しませました。

町内の作家を中心に実行委員会を立ち上げ、初めて行われた取り組み。今後も開催を予定しています。

矢巾中央幼稚園・保育園【3歳児】

友だち紹介



かとう えまちゃん



のざわ せなくん



ふじわら みことちゃん



えびな はるかちゃん



さわぐち そらちゃん



ほおのきだ はるきくん

